

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会	会議場所	第3委員会室
		担当職員	藤村
日 時	平成23年9月6日(火)	開 議	午前 10 時 45分
		閉 議	午前 11 時 45分
出席委員	◎西村 ○田中(豊) 並河 中村 齊藤 日高 堤 木曾 石野		
執行機関出席者			
傍聴	<input checked="" type="checkbox"/> 可・ <input type="checkbox"/> 否	市民 0名	報道関係者 0名
			議員 0名

## 会 議 の 概 要

### 1 西村委員長 あいさつ 開議

### 2 事務局日程説明

### 3 事件

- 平成 22 年度決算審査事務事業評価項目の選定について

<西村委員長>

決算審査時に行う事務事業評価を行う項目を選定していきたい。

<事務局>

事務事業評価の流れ及び選定資料概要説明

<西村委員長>

項目数は委員会で決めることとしているので、まずは各委員から評価項目をあげていただきたい。

<木曾委員>

全体を通しては、出しにくいので部ごとに区切って進行願いたい。

<西村委員長>

それでは、部ごとに区切って検討する。まず、資産活用プロジェクト所管分ではどうか。

<木曾委員>

市有地等利活用政策推進事業経費を。

<田中副委員長>

商工業振興対策経費の効果を評価したい。

<西村委員長>

次に企画管理部所管分ではどうか。

<石野委員>

セーフコミュニティ推進事業経費を。3年経過し、次の認証に向けて。

<堤委員>

テレビ中継局経費を。決算が予算の約半分である。

<並河委員>

ブロードバンド・ゼロ地域解消事業経費を。充実事業であったので。

<西村委員長>

次に生涯学習部所管分ではどうか。

<木曾委員>

財団活動経費を。

<並河委員>

男女共同参画推進経費を。

<中村委員>

地域振興事業費を。予算と決算が大きく違う。

<西村委員長>

次に、総務部所管分でどうか。

<中村委員>

庁舎維持管理経費を。随意契約になっているので、その内容を。

<木曾委員>

地域イントラネット管理経費を。ほとんど使っていないのではないか。  
災害対策経費、デジタル無線の関係を。

<石野委員>

収納事務経費を。

<西村委員長>

会計管理室所管分ではどうか。

—なし—

<西村委員長>

教育部所管分ではどうか。

<石野委員>

小学校費、中学校費ともに要保護・準要保護児童援助経費を。予算額、決算額ともに大きい。

<齊藤委員>

生きる力を育む教育推進経費を。

<日高委員>

学校給食管理経費を。

<並河委員>

小学校費、中学校費ともに通学安全対策経費を。

<木曾委員>

小学校費、中学校費ともに学校施設管理経費を。

<石野委員>

放課後児童対策経費及び体育施設管理運営経費を繰越も含めて。

<堤委員>

一般図書館経費を。

<木曾委員>

教育研究所事業経費を。

<堤委員>

総務文教分科会では、今選定した項目について集中して説明を受け、審査することになると思うが、他の事業も一通りの説明はあるのか。

<事務局>

新たな決算附属書類を中心とした決算審査方法及び事務事業評価の流れ・方法を説明。事務事業評価1項目につき、25分を予定しているので、もう少し精査いただかないと審査日程が厳しい旨説明。

<木曾委員>

今回、附属書類が充実しているということは、従来の説明が短縮され、質疑等審査の時間が十分取れるということか。

<事務局>

それを意図して改正している旨説明。

<西村委員長>

昨年の評価項目は、地域イントラネット管理事業、小学校運営事業、情報教育推進事業、通学安全対策事業、ガレリアかめおか管理運営事業の5項目であった。

<木曾委員>

初めて決算審査をされる委員もおられるので十分な準備をしておかないと審査時間的に厳しい。まだ追加提案されていないが、参考資料を配付いただければ、事前に熟読し、スムーズな審査をすることができ、今抽出した21項目でも可能かと思うかどうか。

<事務局>

追加提案されるまでの事前資料配付は難しい。

<木曾委員>

追加議案の配付があるのはいつか。

<事務局>

14日の議会運営委員会後に配付される。

<木曾委員>

できれば、分科会の始まる前に追加議案を見てから整理したい。その機会には時間的にはあるか。

<事務局>

追加議案が出てからは、常任委員会が決算特別委員会の前日である旨、一般質問質問最終日の本会議終了後は委員会開催が考えられる旨説明。

<並河委員>

もう少し、整理してはどうかと思う。執行部もそれなりの準備もある。

<中村委員>

昨年の事務事業と重なっているものもあるので、昨年とあまり変わらなければ整理してはどうか。

<堤委員>

項目を絞るということだが、その判断材料となる資料がないと絞れないということなので日程の調整をされたい。

<西村委員長>

何項目に絞るのか。いつまでに執行部に通知するのか。

<事務局>

10項目以内。本日選定いただいて、本日通知する予定。

<西村委員長>

16日に絞って、通知することでいけるか。

<事務局>

日程的に厳しい旨、来年度の予算審査につなげていくという観点で考えていただき、

本日事業を整理いただきたい旨説明。

<木曾委員>

本来全ての事業を評価すべきだが、日程の関係で項目を絞っているだけであって、執行部に配慮して選定するものではない。どの事業も説明できて当たり前。

<堤委員>

議会改革でも通年化や審査日程の確保等が議論されている。事項別明細を詳細に説明する資料が提出されるならば全て説明できるはず。事前に項目を知らせるのは、事務事業評価項目は詳しく準備するが、その他はそうではないという執行機関の姿勢があるのではないか。

<事務局>

事務事業評価項目については、庁内の事務事業評価シートの準備等の時間が必要である旨、本日選定するという日程は議会運営委員会で決定されている旨説明。

<木曾委員>

追加議案も提出されておらず、執行状況がわからない中で選定するのは筋違い。初めて決算審査される方ならなおさらだ。議運の批判をするつもりはないが、本来の姿を言っている。

<西村委員長>

通知が遅れても執行機関はそれなりに準備可能と考えるが、総務文教分科会だけが議運の決定を無視して21項目も選定することについてはどうかと思う。

<堤委員>

それは整理するべき。

<田中副委員長>

本日は、21項目について準備をされるよう通知し、16日に委員会を開いて、項目を絞り、事務事業評価をしていくことでどうか。

<木曾委員>

具体的な資料が出てくれば、評価項目から外すものが整理できるはず。21項目全て評価するのでなく、資料を見てから整理して、10項目程度を評価していくべき。

<西村委員長>

本日は21項目を通知し、準備願ひ、改めて16日に委員会を開催し、10項目程度に整理した後、評価をしていくこととしたいがどうか。

— 全員了 —

<事務局>

日程的な指摘・課題は今後検討していく旨、昨年は特別委員会日程があり、追加提案後に事務事業評価項目を選定された経過を説明。21項目を確認。

<堤委員>

平成22年度予算については、議会も議決し認めたいうで執行されている。細かな数字云々よりも議会は何を持って審査するのかという着眼点を持って審査すべき。

<西村委員長>

それでは、本日は21項目を通知し、16日の委員会で整理する。16日、本会議終了後参集願う。

本日はこれにて、閉議する。

閉議～11:45

## 平成23年度事務事業評価項目

- 市有地等利活用政策推進事業経費
- 商工業振興対策経費
- セーフコミュニティ推進事業経費
- テレビ中継局経費
- ブロードバンド・ゼロ地域解消事業経費
- 財団活動費
- 男女共同参画推進経費
- 地域振興事業費
- 庁舎維持管理経費
- 地域イントラネット管理経費
- 災害対策経費
- 収納事務経費
- 生きる力を育む教育推進経費
- 学校施設管理経費（小・中）
- 学校給食管理経費
- 要保護・準要保護児童援助経費（小・中）
- 通学安全対策経費（小・中）
- 放課後児童対策経費
- 体育施設管理運営経費
- 一般図書館経費
- 教育研究所事業経費